

「人道プログラム」活動を 高松高校生が行います

令和8年2月25日（水）
香川県立高松高等学校
担当：三崎（当日の取材、
内容に関すること）
電話：087-831-7251

- （今回の活動）
- ① ホロコースト記念館理事長が高松高校にて講演会 & 座談会
 - ② 高松高校生が亀阜小学校にてアンネのバラの説明、贈呈
校庭で小学生と一緒に植樹

2023年3月に広島県福山市の「ホロコースト記念館」よりアンネのバラを譲り受けたことを機に、「人道プログラム（下記参照）」の一環として、地元の小・中学生を対象として、本校生からアンネのバラの紹介と接ぎ木体験、杉原夫妻の功績を互いに学びながら平和について考え、同時に校種を超えた交流を行ってきました。その一環として、ホロコースト記念館理事長である大塚^{おおつか}信^{まこと}氏を招いての講演会や、初めて高松高校の生徒が昨年接いだアンネのバラの亀阜小学校への贈呈を行います。

1 日 程：令和8年3月3日（火）

- ① 11：10 大塚理事長講演会（場所：高松高校 アルカディア2階会議室）
11：25 質疑応答 & 座談会
（大塚理事長、元ヘブライ大学附属高校校長ナダヴ・ハルヴィ氏）
11：55 終了、記念写真撮影
12：00 解散、亀阜小学校へ移動（ここまで高松高校生45名参加予定）
- ② 13：00 亀阜小児童による、開会のあいさつ（場所：亀阜小学校 体育館）
13：05 ホロコースト記念館 大塚理事長よりメッセージ
13：20 高松高校の生徒より「アンネのバラ」について説明
13：30 贈呈式、その後校庭へ移動
13：45 亀阜小児童による、植樹式に移るあいさつ
13：48 高松高校の生徒と児童での植樹と水やり
14：00 亀阜小学校代表者、亀阜小学校校長によるあいさつ
14：10 閉会のあいさつ（ここまで高松高校生9名、亀阜小学生全児童参加予定）

高松高校の「人道プログラム」

本校では、一般財団法人三菱みらい育成財団による「心のエンジンを駆動させるプログラム」等の助成を受け、「杉原千畝・幸子氏から広がる人道の輪～高校生同士の交流が世界へと繋がる」のテーマのもと、イスラエルやリトアニア大使館表敬訪問や愛知県知事、神戸・沼津市長表敬訪問、岐阜の杉原千畝記念館等を実際に訪れて学びを広げる国内研修などを行いました。また令和6年度にポーランド、リトアニアを訪問する海外研修、令和7年度に大阪・関西万博でのプレゼンテーションを行い、「人道」「国際平和」「民族融和」について考えてきました。

第二次世界大戦中、自分の命の危険を顧みず、リトアニアの地でユダヤ難民に対して「命のビザ」を発行した杉原千畝外交官の妻幸子（ゆきこ）氏は本校の卒業生であり、ビザ発行の勇気ある行動の影には妻幸子氏の献身的な支えがあったと言われています。

このご縁もあり、ウクライナやイスラエルで戦争が行われている今、高校生が平和な国際社会の創出に向けて意見交換し、多くの学びを共有し、またその輪を広げ日本国内から世界へと繋げていきたいと考えて活動を行っています。現在は県内での普及活動に力を入れ、「アンネのバラ」を通じた地元の小・中学生との交流を大切にしています。